第 49 号 (1)

報 衆 あ 5

昭和56年1月10日

人口の	うごき	(昭和55.	9. 1現在)
5 571-S.	新屋南部	新屋北部	合 計
総人口	12, 585	11,604	24,189
男	6,056	5,816	11,872
女	6, 529	5,788	12, 317
世帯数	3, 578	3,194	6,772



1面	「新年	を迎	えて」	穂移	1 会	長
"	「季	節	風」	三浦	校長	先生
2面	県立普	通高	等学校	誘致期成	同盟	会設立
3面	「随	筆	1	浜	夕	平
4面」	西部公	昆结	の活動	44:00		
5面「	KAUNT	IC RE (の旧朝	1100		
6面	新しい	民生!	児童委	員		
7面	干支に	ちな	7			
8面	「外	遊	記」	ほづみ	ま	こと



迎之 中国四 裁判、 おどろ とで大 ラク

が明の

アフ

がみられ、

国内的にも大企

フラ

ン革

業こそ史上最大の利潤を計

戦争、

したもの

中

小企業の

ポ

ーラ

ふり

かえ

も決して好ましくない状況

きな

ンド自由労組問題、韓国の

かせ

金大中裁判等々

.

国際的に

ž

います。

To

3.0

西 新 部地区振興会連合会会長 屋振興会長

穂

積

惇

新年を

E



一九八 -----年 元日

頭

のごあ

13

さ

つと致し

0

発 通高 かし、 下浜 進す ころであり 南バ たえませ 目 E 4 大住宅地、 何奉 決意を新 -----る年に 校の 層の ウ 地区 を定 風光明媚に恵ま 2 ンとし お 御指 を h 致 「橋の問題 5 秋田市の ねばなら 「浜田 本年こみ 自然環境 導 田 E + めての 民の歩 の発展 御獅 てい あげ 大き .

屋か 連動 発展 フか つの させ 以来 はならない時、 P. しても か なり D そ きらない時、誠に痛 を考え、 丸となっ は なけ 5 のことで これ ガ 頂き 必要 会議 にも 会議 新屋町はじま まで三人全日 2 、今後いろ ことは誠い ho ば も 員がゼロ 今後い した。 なり はないで 員が 県会議 ŧ tet

民一 結ぶ橋が 開 ス "雄物川 2 わ が新 ません。 ても り雄 南バ 然し 屋 町 それだけで 12 発展の シューーニ 屋と旧市 に橋がで スの早期 と橋を ありま 大運動 ませ 亦抽 +-++

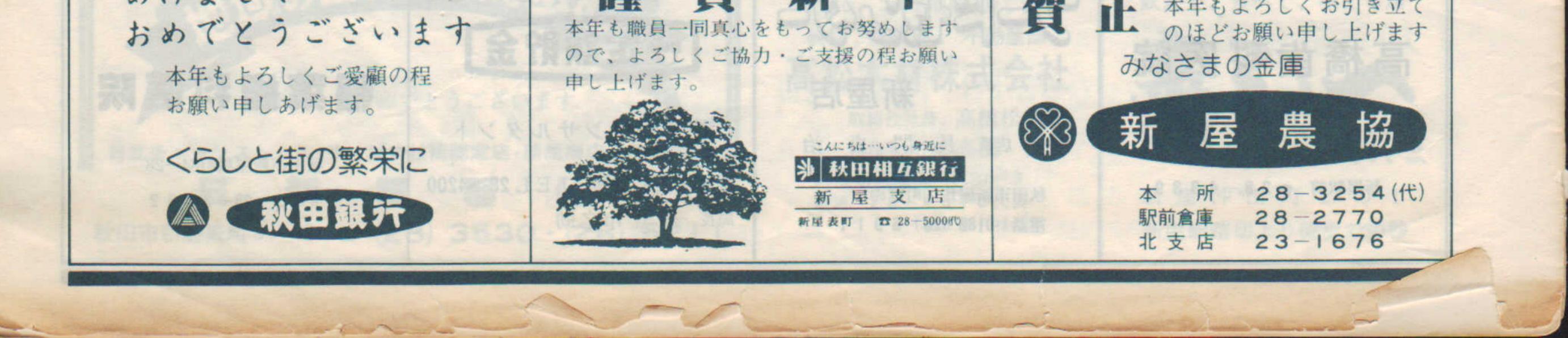
集計も 地の 区の住民のア 田市 なけ 完成 育委 らで ら変貌をとげようと 又飛行場 をみ とい りはいられませ には豊岩の石田坂、 動を展開 部地区に 道に 展を考え る言葉で 転換などと最近よ して 5 夢はふ 道にか 2 して ----え して頭を抱えこんでばか 然し乍ら、 るところで いて てみない 利用 下浜 12 これ ます 0 新 H た り出 終 大森 も 屋町を むけ 会 こと 普通高 お も早 こつ発想 り、 くらん なり からの新 の生活に 誘 5 の移転に伴い の開発へと、 が、 とわ 致す た 方針 我々 2 、痛切に感じて そう 運動 ンケ ことながら、 63 + 0 校を新設する 中 宗並び 庶民に 大開発、 梅林、 せ 我々 ho き と存 7 ~ からないと と 15 くこれか 参り た。 如何 は 是非 も漸 屋町の発 転換をし 悲観ばか ま を展開し 年懸案で も割山地 ho もここ 国見山 発想の ねかえ に県教 耳にす -----ト等の て は現 又秋 大き この 決定 スの さら た西 我々 かと ます ます 大運 跡 そ 61 0

12

2

ません。 年頭に当っ は誠に残念な 2 実の己れ 俟って不況の感は そ 多 4 の圧迫は息苦 14 ません。 産 国民に与えて n おり が新屋町に於 き 2 新会社へ の経営悪化から たと頭の ま て増税と した。 をうける企業も出て 高度成長の 稲作 と変り 中で 誠に残念でな 7 国民生活へ 地場産業の お の減産と相 は まぬがれ 送り、 時代は 不況の わ 条パル ます。 三年 かつ 条製 を我

				H 00	します。	いて年	戦撻を	いると	っない	タッ	すれを生	開	岩、	としては、「		にれ	000	0	よて		選	員は	会い	新	しん。	€ 住	e" *	マレオ		完工
に励んでいるところで	一層「日新教育」	だ敬服するばかりで、	の母校日新に示される	新屋の方々、PTAの	んでおります。	れる方々は「ここが	ルもの全暑	くれます。	掲げられて、無言の	が職員の努力によって	郎画像」、更には他	毫の「日新」の扁額、	なる標札、上遠野富之	。 また本校には貴重	実力をたくわえており	べし。」と言われるをあげ、今なお「日	は常にトップクラスの	競う「陸上記録会」な	市内の小	ほどの野性味が感じら	ができます。すっかり	舎は大橋からも望み見	模校で、鉄筋四階だて	たりました。	創立百六年の輝きを誇るに	100000と共に歩み	校長 三浦 万蔵	秋田市立日新小学校		新御れ
6 交通安全協会	区 隊 長	会军即連合会	会新屋消防後援	新居商店会長		■ 員 為 義 会 総 勝 一 新 屋 民 生 児 重 委	組合連合会長	1.15	協 会 長	会	社会ノリーに相			。なり	Ĩ				会 計 監 事	《(常務)				*		*		新屋振興会理事	副 新 屋 振 興 長	新屋振興会々長
高	長谷	仙	横	ßī	J	大	高	森	辻	伊	髙						藤	5	中	大	Ī	斎	小	長谷	4	伊	仙	石	大	穂
島	合部	葉	山	台	ß	島	橋	Щ	永	藤	倉	1		.1			沢	1	野	沢	月	쨣	野	日部		藤	葉	黒	島	積
善	周	善	啓			勘	松之	輔四	岡川	9	嘉	105							源	四	ī	旼	光	唐]	礼	善	芳	勘	
治	治	治	太郎	멸	¥	勘九郎	之助	郎	Pur .	t	行						浩		-	郎	0	進	義	社	1	2.8	治	太郎	九郎	惇



六十年を目途として新屋振 衆知のとおりであります。 が西部地区も、 移をみるとき、進展の度合は を策定いたしました。 ○教育環境整備計画 ○将来人の推移 旨の確約がなされ、〇会則の審議〇役員の選出〇予算案 支所において、各種団体役員、 会と地元県議員、 される訳であります、したが 予測をはるかに上回る現状に 過いたしました。今日その推 ○土地利用計画 た西部地区の総会開発計画 のもと設立総会が開催しました結果、強力に推進する およぶご案内を差し上げたところ、約七十名の御出席 なされたことから急遽 て慎重な協議の結果、 成同盟会」設立の発起人会を設け、 ○道路綱整備計画 の審議を得て十二月十九日陳情団を結成し、 「秋田市に普通高等学校設置」の計画発表が県当局が 今後も、急速な進展が予測 策定以来すでに十一年を経 昭和四十四年九月に昭和 いて、秋田市の高等学校の現状と将来の展望につい 去る十一月四日秋田市西部地区振興会連絡協議会 を変え 県立普通高等学校 秋田県教育委員会委員長、 地区も、次第にその 水道整備計画 地区 した。 誘致の 新屋を中心とし 新屋北部、 つあることは ときあたかも同月二十一日付魁新報に 市議員による組織体)の定例総会に に 豊岩、 全員一致の賛意のもと次の決議 「秋田県立普通高等学校誘致期 期成同盟会が 浜田、 推進することとなりました。 5, を活! 主旨にもとづいて 致の賛意が得られました。か 視し ともに行政と綿密な連繫を保 して、 普通高等学校誘致期成同盟会 のであります が設立し、強力にこの運動を の将来あるべき姿について、 の総会に ような観点から次の陳情書の よい西部を造ることで全員一 学園都市として緑豊かな住み 秋田市ベ って我が西部地区といた 惧重な審議がなされた結果、 過般の連絡協議会(前記) 町内会長等百数十名に 同教育長へ陳情した。 誕生する。 、その発展を切望するも 乱開発の未然防止等を監 した有効利用を考えると この広大な地域の特性 十二月十三日新屋 下浜の各地区振興 お ットタウンとして又 いて、 秋田県知 当西部地区 「秋田県立 しま 教育内容、 に対処し、 ○会長 西 を巾広い誘 高揚そして 緩和と学校 ことはご同 日もっとも 会における 機器の導入 25 区は県都秋 総会をもち 団体の役員 て広大な丘 ○監 事 ○副会長 00 を設立いた 晋通高等学 の立地条件 L, 上に伴う生 賜わります ノとして又 とから前記 侍られまし 何卒、 期成同盟 下浜振興会 新 十条パルプ なお、 申すまで 豊岩振興会 浜田振興会 **新屋北部振** 今年は 秋田市 てくる。 下 交通、 格別の 浜 屋 学 11

5

あ

田市

依相

興会では、

報

となりま

お

新屋本町、

衆

や

西部

号 第 49

振興会の

あ

ゆ

み

ます。

%以上の志

○陳情の理

垣由

当地区の

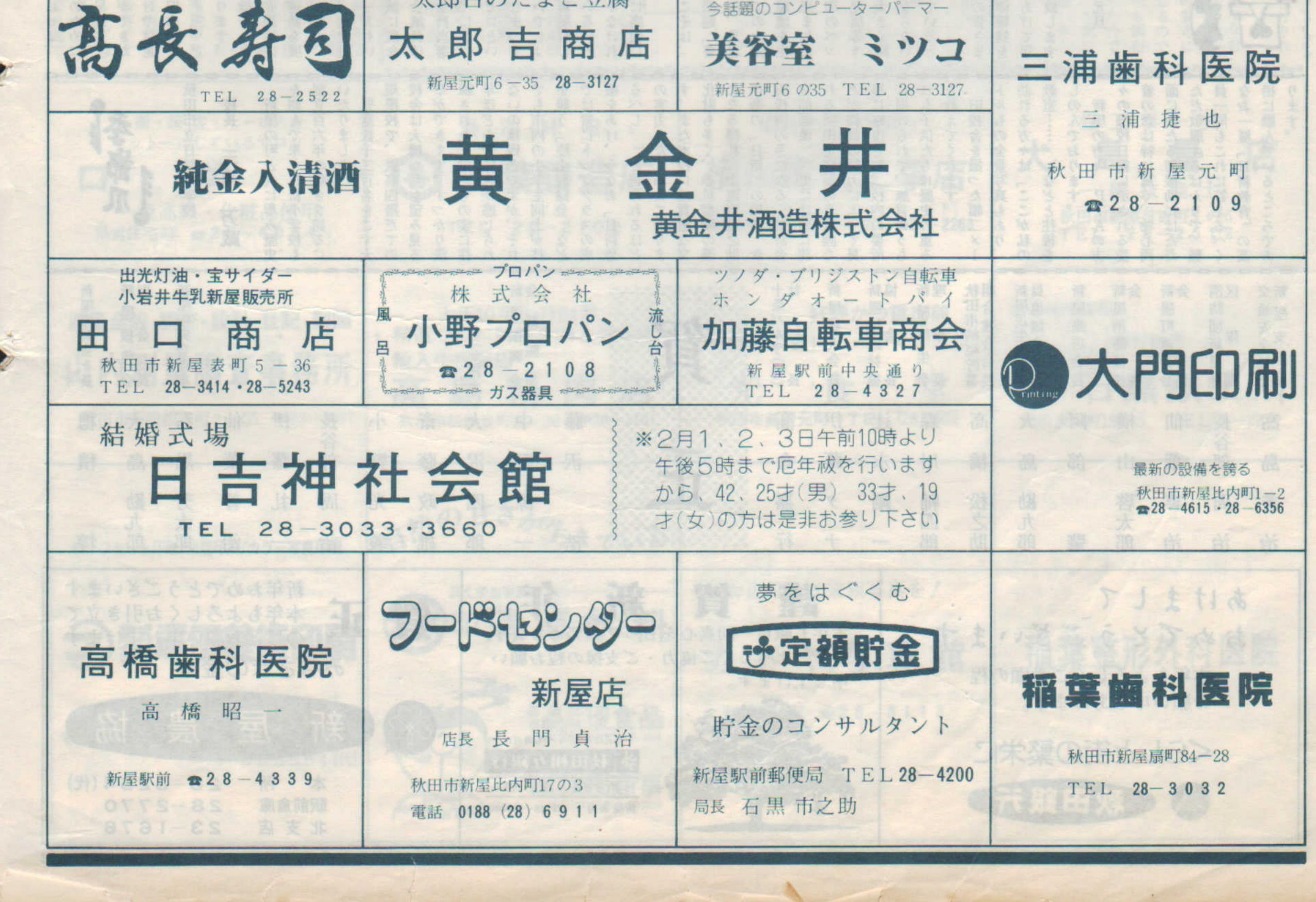
(2)

|--|

昭和56年1月10日

0

あります。



	0.0	屋 家 5 周 年 座	をと	卫え	2 100
Sum	~~~	щ	席	者	
~	元	編集委員	栗	原	英 男
3	元		Л		和夫
3	前		中	野	象八郎
3	現	"	石	黒	市之助
m	司会	☆ (現)	大	塚	慶四郎

で二十五周年第四十九号の刊行となりま-の本質を探る厳しい批判の続出である。 創刊当時の編集委員を囲んでの座談会で衆報 一九八 一年の新春を迎え、 新屋衆報も今年 した。

と題

2

T

6

あ

n

ことを自由に書き

たて

町

民

の意識を変えよう

との

Z

2

ます

司会者)

二十五年と言って 永い えた訳であります。 ら本年が二十五周年 幸い創刊当時から相当長 新屋衆報が創刊されてか ~年月であります。 やはり 目を迎 ----ロに

や

かけ い間編集に携わ ました栗原さん かけがえのないお人でありすことは今日の座談会には が居られま てこられ

あ

5

しなどを語っ 衆報の起源と当 と思 そこで、栗原さんに新 います。 てい 時 ただきた 屋

(栗原)

五年前になりますが、当時 聞の専売所を設けて 報の編集委員長となられま 父さんの穂積孝悌さんであ の振興会長は今の会長のお 方がおりまして、新 のお宅の前を借りて朝日新 ります の経歴があり、 した田村芳磨呂さんと言う して、丁度その頃大島先生 今から丁度ふた昔半二十 大島清蔵先生が衆 特に文才に 聞関係 おりま

第 49 号

 $(\mathbf{3})$

なった。 先生と田村さんが話し合い の結果、着手するはこびと たけていたこともあり大島

地元の協力が得ら

れず、

IH

うですが、

当時

なかなか

られて順調に行

2

てい

るよ

奔走をしたもので

す

中内の知人の広告

を求め

T

昭和三十年から開いていた ことから私の店に度々来て 人であっ う方は大変にお酒の好きな たまたま、 たおりに種々なお たことと私の店が 田村さん と言

話しで、

創刊

(司会者)

ただいまの栗

言時の模様が

では次に川口さ

れも相当以

蒙拉

号

よく理解出来

ま

た。

それ

意気統合 話し合 くださつ つがあり のうちに るとこ して編 12

あって来彼 単大会に書

刊

いたと記憶しておりますこ 正社員及傍系会社の従業員 その家族を含めますと新屋 の三割くらいの方々が東北 を合せます の全盛時代でありまして、 当時の新屋は東北パルプ (現十 条パルプ㈱)さん と約二千人程で

> たします。 けです。 のことですが、 私は二年間程 もう +

二、三携わっ

ただ

三年前

のメンバ なり四人 ることと -

- で始めた訳であります。

前から携わって

お願いを

17

たよ

うですから一言

集に携わ

報

衆

昭和56年1月10日



とと

は

一億リ

ルの当

0

新

屋

酒

を生産

して

お

7

4

造元

が五軒と味噌、

が醬

油の

醸造

厳然たる

七軒

勢力を占めておっ

た

時で

あ

ります

0

新屋衆

0

風潮

とも言う

~

他人の足を

でっは 訳 力 た 12 2 Te た が あた P 5 6 東北パ 仕事 が と言 C あ な て ものと思う てやるからあ との依頼も いたときに会長 と言うことで h 2 り二十五年間の刊行に 2 がーー 5 0 とか てこそ今日 てのことだと思う N た は編集委 4 L 7 か ㈱会社から貰 2 算措 あ に私が携わ 7 とは あ < ま 員 広告料 が用紙 置 0 n 2 To た。 0 3 労苦 るよ 続 な っよ 63

でなか

な

か自由に

し仕事

が出

引張ることが非常

m

12

た

7

来な

根強

63

もの

があることから

それ

では

ミで言

た

い放

題の

報は な た り が衆報の原点が ゆうにす それ いかと言う感じが りに滲み出て 今日創刊号を見た 「秋田市だ に引き ぎ な よ え 63 -----12 現在 号二 るの と思 ŋ 0 -号あ です う訳 0 ま で 0 衆 あ す は

資金の面であり

ますが

今

特に苦労した点と言

うと

では地元の方々の協

力

が得

うこう点ですが、 の取材だ 屋らり 伺える。 を取材 は大島清蔵先生 強く受ける 意味での足跡が た記事であると言う実 創刊号 のがあ して歩い 63 と思い ったり、 衆報を作 to よう ら或 は足で 3 ま 0 あ 時期 主張 切り す や ると言う 村 る が 取 あ は 新 さん と言 まで り新 ぬき と言 りと 感 材 屋 を

扱わ 思う 12 民問題の提起で が町民と衆報が結 今日国民的話題とな る冠婚葬祭の見直 0 れて 1 刊 **国民的話題となって** ップ記事 いる。 は まさ として び な しが当 2 63 取り 2 か n 住 2

-111111

HIII I

1 august

決を計 とで 呼び が ある振興会が衆報を通じ 与論の結集され 住民 か あ る事 自 ります けることも大事 ら一石を投じ も大切ではある た機 て解 な 関 で 7

又編集室の欄を読んでみ たが実に立派なことが

の感じが強く受い

ている衆報

穂積現会長

見る人が 吸収 う意欲が ありあり 読 0 k と同 5 他 0 る ことを 極的 か 意欲的 うと む人、 の面で 自然 方 あ るか える L E 町 T 44 T と



多 して 変勉強になり 号二号……と読ませて ます 大変勝手な事 て新屋衆報の原点を知 申訳 。今日この席に来て なる気が ないと思ってお

(司会者)

た感じ たが、 るや とを ざ 川 7 の原点が 批 1 今 さ 木 が 判 や さらながら を頂載 はり h か ま

態であ 7 か 編集に なか そ n ŋ 脱却出来 0 あた ま は す

5 んか n らま す -が、 言 お

(石黒)

しかにあるので原点に 編集委員のスタ 言うことは編集に携わ を比較をする訳 りにも忙し は寄稿者の選択 のとして心ぐるし らしい衆報を作るにはあま もあると思うが 現在の姿と発刊 ŋ ます。 3 い時代 したが

秋田市新屋表町9-45 ☎ (28) 3530 · (28) 5211

			1
			成
菑	淮	愿	37

ともに健康の増

管内にお ζ. 象にスポ れた。 抗卓球大会が、 日、13町内 この大会は、 ム)の参加に 相互の親睦 17 る地 ツ活

(当

第11回西部公

きまり を守り

設ができ、 上に住み ころには、 のために役立ついろんな施 もつ いるだろうと将来に望みを ほく とたく たちが、大人になる よい町に発展して 雄物川にも橋が 飛行場の跡に町 、さん掛り、 今以

在までに三つの町に住みま ます。 かけて います。

の新屋町です。

田郡の鷹巣町、

そして、

2

南秋田郡の飯田川町、北秋

した。

風景も るので、 現在の成長期を過ごしてい とになる町だと思って たと思っ て自分のふるさとになる町 までと小六から現在までで 新屋には、 が、 朝のラッシュやせつ わんぱく盛りの時と ています 友達、風景もすべ べて自分のふるさ 小一から小三 0 15

でも、 まう かくの飛行場が移転 、等、 不便なこともあり して L

住みよいまちを

つくりましょ

昭和56年1月10日

や

が

町

シリ

ズ 三)

中二

菅生

努

5

あ

団体連絡会議は、西部地区

成は、南団地町内会、

沖田

秋田市西部地区地域青年

また、

新屋南青年会の構

(成

第 49 号

西部地区青年会スポ

ッ

(4)

新星

新屋南青年会

の大会において、

新屋南青

年事業と

して開催した二つ

今後、

新屋地区により多

期

会

的とし

昭和五十三年に

交流と地域に根ざした活動

を目差そうとしているもの

発足したものである。

この会議が、

昭和五十五

である。

共に連絡提携することを目

を対象とし、

青年の親睦、

◎優

숲

期

活動の充実、発展を期して

沢町内会の四町内会の青年

町内会、高美町内会、

田尻

における地域青年会が、会

た。

報

年会が

見事、

優勝を果し

期待したいものである。

の友情の輪が広がることを

◎優

新屋南青年

○準優

前郷青年

숲

が

少し出来た

タイ

、の青年会が誕生し、 青年

衆



民館

に 種目制覇する お !!

○第二回 ○第四回 ○準優 ・西部地区青年バ 西部地区青年野球 昭和五十五年 西中体育館 新屋南青年会チ 西部運動広場 昭和五十五年 内浜田青年 会チ . 西中グランド 月二十四日 大会 一月十 4 4 ル大会 六日

新屋北 新 町

位に輝

松美が丘町 (新屋北部)

三連勝達成リ

..

去る11 日棄権 を深めると 動をとお 域住民を対 民館町 西部公民館 より開催さ 体力づ 月 23 L F 対 され 3対0 区よ の心構えを培うための機会 として実施されている。 北新町で争われ、北新町が ぜ n 決勝戦は、 13 もの 9 優勝杯奪還を期 地域活動へ 多くのチー で優勝を逸した。 56年度は、 であ 松美が丘町 の参加等 ムが参加 新屋地 てほ

0

一駒

公民館で行われ

た市民講座

中3位勝 100 勝 績 北新 豊岩居 松美が丘 町 使 F 町



なつ 公民館へ足を運ぶように 5 から、 もう五年が過

思えば りませ 内容や ぎま ってお 私など行 とも思 5 公民館」 の子 お た。 んで くみなど した。 したの 責 んで よ 建物は は全く もちろん 仕事の た。 知ろう 自分の 0 と思 4 知 知



降るじ 降るじ 室とい これ (おろ いむ う呼びか は先日 ちゃがな… 屋根からボタ雪 むかし、 けで、 民俗民話教 る」 なー 西部 んだ あつ 0 -

調子は とらせ 0 てい うな行事や、ことわざ から む 還歷 る て語りかける先生 「何か」 らべ唄、 秋田に伝わるい の迎えられたば 山田先生を講師 現代っ子の失 、れま 昔話などを を肌で感じ した。「秋田 かけ ろ の名 かり E な 63

て

いろ

いろな学習をするこ

オ等のマ

コミを通じ

あり 2 グ良 た。 母親学級

学習 軽ス じめ よう にな 達が 取り組んだので をす 週 母 遅れ つけ た。 欲し な気がします。 る魅力より 親学級開講 四回と通う 公民館を利用 回が二回とない 皆様方がとて 体力づく ばせながら「マ 幸 63 ツ教室 した。 館長 と同 も開

社会教育に

家族的で たが、そし がらに 老中男 できな や挿入 ラジ 会で 事を教 本当に ビを通じて 気は えあれば、 現在は 女、 た。 え 楽 の独特の響き だ 集 自分にその気さ ここで だと思 に雰囲気も た人々は、 間に居な きました。 も色々な 四名で ざ出向か テレビ・ ことの な学習 や雰囲 た語り います

L

か っこ」等の 0 も出

7

ス

]

の影響を受けて

12

ると思

から教え

も沢山あ

ような気がして

いま

す。

つ一つも大切な学習である

家庭婦

人は、

非常に大きな

とが出

きます。

事実、

私達

に感	511	さんは	になり	S, 11		るよう	と欲張	講され	じころ、		かった	しろ友	学習	ようと	子供の		の話が) I
に感じること	おります。	足を運びたいものと思って	を感謝しつつ、これからも	る生涯教育の場があること	身近に気軽に出かけられ	う喜びを感じております。	年代の違う人達と語り合	できました。	も多くの友達を得ることが	きました。そして、何より	分の視野を広げることがで	得ました。学習を通して自	スポーツを通して健康を	じがしております。	活の一部に公民館がある感	で今では、すっかり私の生	顔をして迎えてくださるの	大門由千	日吉町	

田尻沢西町

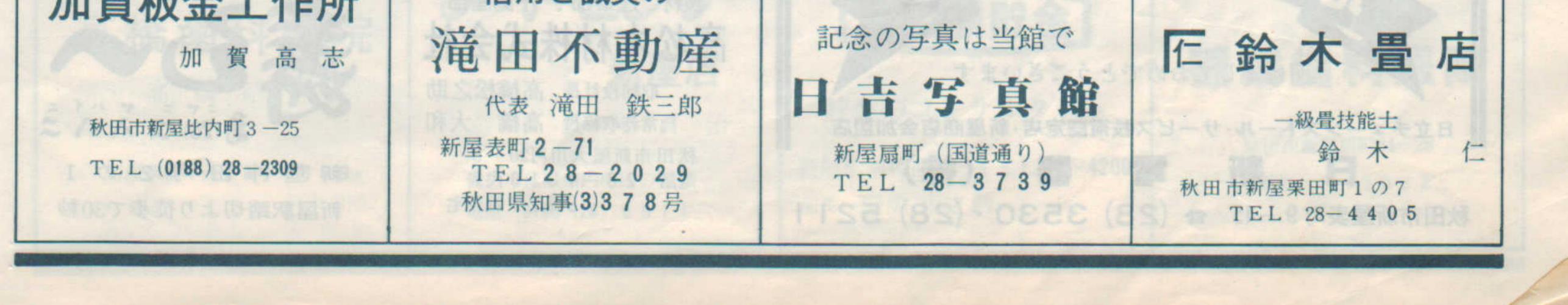
いてい表面的な現象を伝え 藤 ます。が、 井 これからはた れい 子

テレ

止しい判断をしてい るだけの一方通行で、疑問 「報 に答えてはくれません。 だから私達は、 を科学的に とらえて、 これらの く力を

もしました。 種の学級・サ 公民館に開設されて 会での生活に適応したいろ うのです。 には大へんな決意が いかと思うのです。 な日々を過ごしたい と願う人々 いろな力をつけて、 した。参加して もたなければならないと思 最初の学習に参加 の集りが こうした現代社 でもそ いや フル な思い 必要で んな一 ものだ ではな 心豊か する時 いる各 現在

和洋御菓子・大福餅・甘寿し・赤飯 渡勇菓子子(舗 新屋元町 ☎28-4103	食 肉 · 乾 物 秋田名物しょつる・寿しハタハタ 高 寅 商 店 秋田市新屋扇町 ☎28-2104	正戸前
秋田市新屋表町6の15 富野精肉肉店 電話 28局4118番	● 日本部 横山治部 金28-3532	L P ガス・ガス器具・配管工事 日 新 プ ロ パ ン (株) 新屋大川町5-9 ☎28-4514
加智板全工作所	不動産のご相談なら 信用と誠実の	提工事一般 祝 御 成 人 不 変 色 畳



昭和56年1月10日

今年は

見るよ

V,

も

する

スポ

で

得る健康

-

を!!:

すが、 旦にありといわ 目標をお決めになり 新年おめでとうございま 古来より、 もう、 今年の 一年の計は元 n 7 ました 計画、 おりま

こ家族のみなさまでお話合 康と体力づくり」 「まだ」 をしてみてはいかがでし か。 **ハ**づくり」につ 2 了健 いて

だ」と言われる方、毎週日 新屋陸友会の指導で「サン 唯日、午前六時三十分より 「どうも一人では億くう -ジョギング」を行なっ

女 待にジョギングは、 してい 走りのにがてな方に適 るスポー ツです。 老若男

あ

贈られ、 回ジ で銀、 回の参加で 7-ます。 ダルが秋田市より贈呈され スは、 ヨギング 三十枚で金などのメ -枚で銅、二十枚 枚で銅、 田西中学校周 スで、一

当地区でも、 がでしょうか。 七日より初め、 方をお誘い参加してはいか れます。あなたもご家族の ル保持者の方も見受けら 去る七月二十 早くも金メ

催事業)、新屋合同親睦大 会、壮年ソフトボール大会 家庭バレ 前述の外に、当体協では -ボール大会(共

第

(5)

49 号

新屋地区体育協会 事務局長

浅利幸 Ξ

などを実施してまいりまし

た。 屋駅前 壮年ソフトボー いては、 輝か また、 会へ出場し、準優勝と 会に ツ祭壮年ソフトボ つきましては、二十チ しい成績をあげました 町チ 新屋合同親睦野球大 西部地区優勝の新 ムが市民スポ -ル大会につ 去る十月十 いう ル大

残り 会場に日曜日を利用し実施 九日より西部運動広場を主 しましたが、 した時点で悪天候が続き、 ムが参加し、 試合は春まで延期とな 八試合を消化

開放 スポ が担当し み制に ラブル っております。 のレクリ の運営管理につい いてですが、この運動広場 さるよう 部公民館へ 使用に際しては、 利用の詳細 きて、 最後に昭和五十 して を避けるため、 西部運動広場につ 活動等の場と いるものです。 お願 住民のみなさま おり お問 ション活動や 2 ますので、 します。 -六年度も て当体協 合せくだ ては、 お互のト 申込 して 西

スポー 内会の加入方をも併せてお 願い申し上げます ご希望等を当体協へお寄せ っておりますのでご意見、 -くださるとともに未加入町 緒に考えて行きたいと思 ツ行事をみなさまと

が誕生

ンター で六番目のコミ 合いや文化活動 いまち 地域のみなさん 施設である。 ル(バレ の和と連帯の広 体育室・三六八 図書室兼会議室 百万円で鉄筋コ いつでも気軽に マさんパレー 去る十 コミュニテ 一部鉄骨)二 総事業費は約 つくりの -11--二面) 場」 が、 セン など ユニティセ 利用できる ト一面、 階建てで 秋田市 住みよ 「地域 の話し 理室、 和室 して は 7 会議室などがあり 0平方 の延べ面面積は八 二十四畳 (二)階) トル である。 同施設 ニマ、 活共同体、 とは!! コミュニテ 隣社会"または います。 をたず ため、 社会と説明され なまちをつくる "生活連带社会 いえるでし とも 最近では 共同社会、 健康で文化的 てい 安全で快適 いわれて く社会と 住民が手 さえて築 ともあ 地域 "近 生 1階

た気候の土地とはいえませ 雪も多い h 5

時に「新屋だけのこと」で

です。 にはあると考えられたそう 失われたものが

旅する事が流行 さしたものとい 平安時代から東北地方へ われ

T

12

ま

果

てを

す。

住民のみなさまの健康と体

より多くの参加を得られる

カづくりを推進するため、

人達が、 奥 もわが国の西の地域に住む 「みちの この言葉は、 本州の東の 3

しか

県境にそびえる

、おります

5

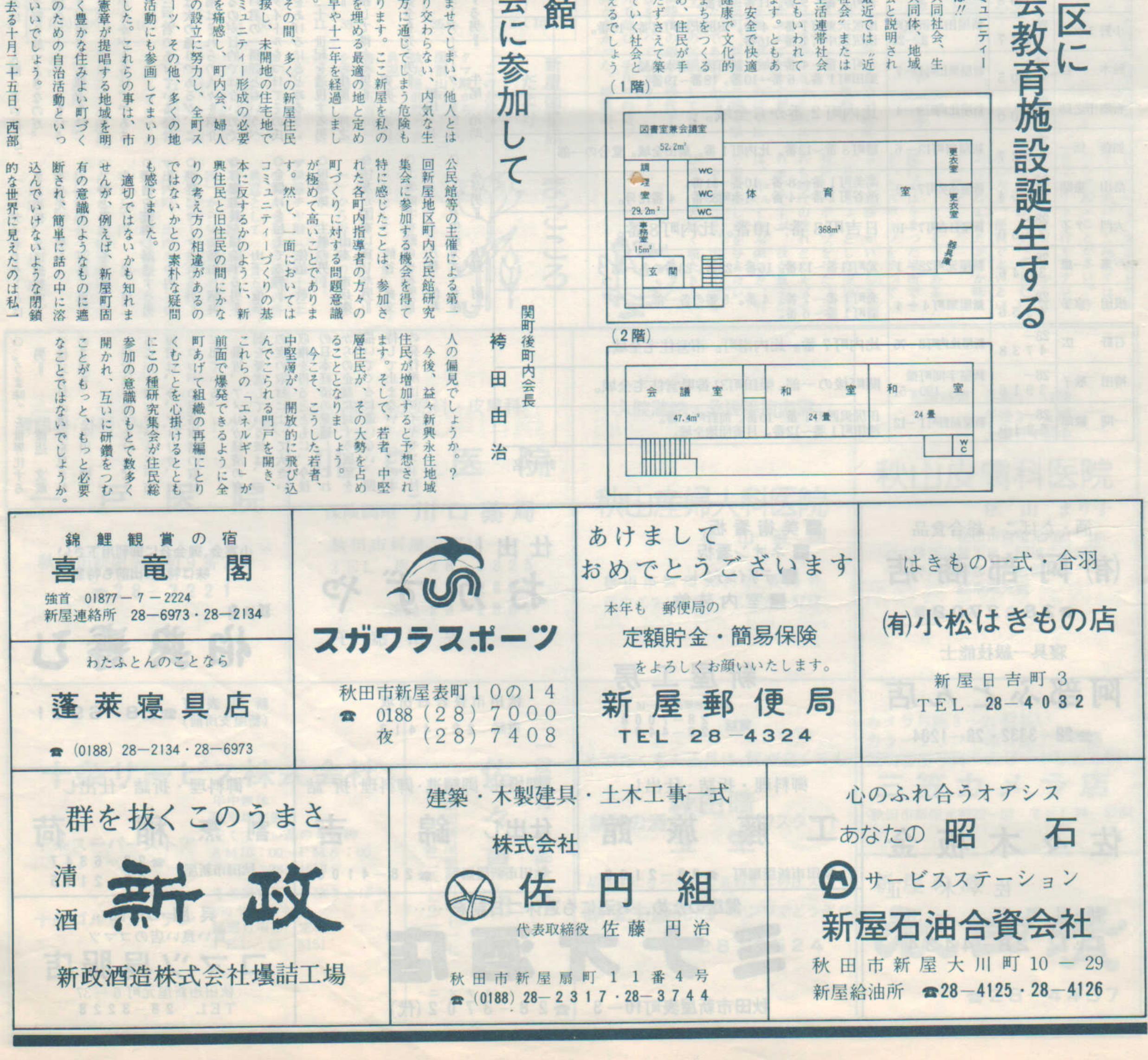
や

衆

報

勝平 -児童館に引き続き

新屋北部地区 L 会 教 育 施 設 誕 生



回新屋 田7 研究集会に参加 内公民館

第

日本海に面した秋田は、 決して恵まれ

> 元凶で が太平洋側を襲い、冷害の 奥羽山脈という天然の屏風 ため、 本海を流れる対馬暖流は、 をさえぎってくれるし、日 秋田は余り **毋から暖風を送ってくれる** うむらずに今日に至ったと いわれて 確実に米がとれ 他の地方が冷害でも ある北東風「ヤ います。 大きな被害をこ 水もあ マセ」

みちの

つけたのかも知れません。 しかし、団結性の強さは

気前がよく、団結性に富む た環境が、 れば酒もよいという恵まれ という独特な住民性を植え もすれば派手な消費性なり 新屋住民にやや

L.

中央で

「みちのく

骨を埋める最適の地と定め 余り交わらない 会の設立に努力し、 た。 て早や十二年を経過しま き方に通じ 性を痛感し、 コミュニテ ボーツ、その他、多くの地 あります。 その間 未開地の住宅地で 多く ここ新屋を私の 町内会、 形成の必要 の新屋住 まう危険も 内気な生 全町ス

てい りのための自治活動とい いで しよう。

すませて 13 他人とは

域活動にも参画してまい 民憲章が提唱する地域を明 ました。これらの事は、 るく豊かな住みよい町づ

P 節雄君の 「意志決定する男たち 現代経営者論 快著

第49号(6)



輩や知己の人たちが日頃の 蓄積 出版した年であっ 奇贈を受けた本だけでも 数冊に及んでいる。 昭和五十五年は を集大成 貴重 た。 私の先 な本を 私が +

報

決定す あった。 とって、 この上もない喜びの書でも た著作であったし、 屋語り草」と、 か七月初版を出した「意志 れた川口弥之助さんの「新 その中で、六月に上梓さ しようと思う三戸節雄君 る男たち」は、私に 大きい感動を受け これから紹 また、

ては、 読まれて 新屋の多数の方々がすでに 三戸君の著書に この稿ではそれを割愛 してみたい しく紹介され 「新屋の語り草」 秋田魁新報紙上でく いると思う と思う 12 たし、 につい 5 紹介 6

あ

天氏の息子である。 と思う。三戸節雄君は、そ の工場の工場長であ **|**隣りに興亜と のったことを思い出され ノが、戦時中 ハなら大概知って 屋育ちの四 63 う工場が ると思 工場の 以上の った康 3

が、その年三戸さんご一家 田高校を受験して合格した た秀才であった。ついで秋 卒業、 在学中は野球選手でもあっ 日新中学校を卒業したが、 節雄君は、 昭和二十五年三月、 日新小学校を

視野

昭和56年1月10日

また、 まで、 得意の人物論に力を注ぎ、 国の内外にルポルター 週刊ダイヤモンドの記者と 東京の高校に転入した。高 編集長として敏腕を揮った を重ねている。現在、彼は、 社会、文化との関係を求め、 して在職、 進み、昭和三十四年同大学 は東京に移住されたので、 法学部を卒業した。昭和三 校卒業後、慶応義塾大学に 一四年から三十 -として独立。経済と政治 以後経済ジャ 月刊ブ 一方、戦後経営者史 その後五十二年 レジデントの 九年まで、 ナリス ージュ

ちている。 てて、 鋭さを説得の中枢におき、 識させようとする意図に満 現代日本の経済、 壮年の企業経営者に光をあ フ副題がついているが、 い日本の企業を支えている には『現代経営者論』とい 三戸節雄君は言う。 「意志決定する男たち」 その人たちの力強さ 企業を認 現

しての奥行きであり、切り、実行力である。人間 想像力であり、 らだ。 力であり、先見性であり、 固有の感受性であり、 の態様はさまざまだ。 ことこそ、『企業は人間で 聞くさい部分」を引き出す も人間くさい部分を知りた いのだと答える。 めるか」と問われるなら、 八間である経営者のもっと 『何のための経営者論で ……人間くさい部分 ことの証明となるか 決断力であ その 人間と 構想 人間 元

> タ 平

浜

ップ。常に現状に張って前進するい を醸成し、 に立って、 20 性を指示する慧 業という舞台で の創造と運営に に投影させて未 本質が具現され の広さである。 る歴史観であり する見識である それら人間く あらゆる社 . ビジ 人間

新しい民生児童委員が任命なりました。 (本町) 民生児童委員担当区域表 新屋地区

55. 12. 1 選任

に取り組んでいる。

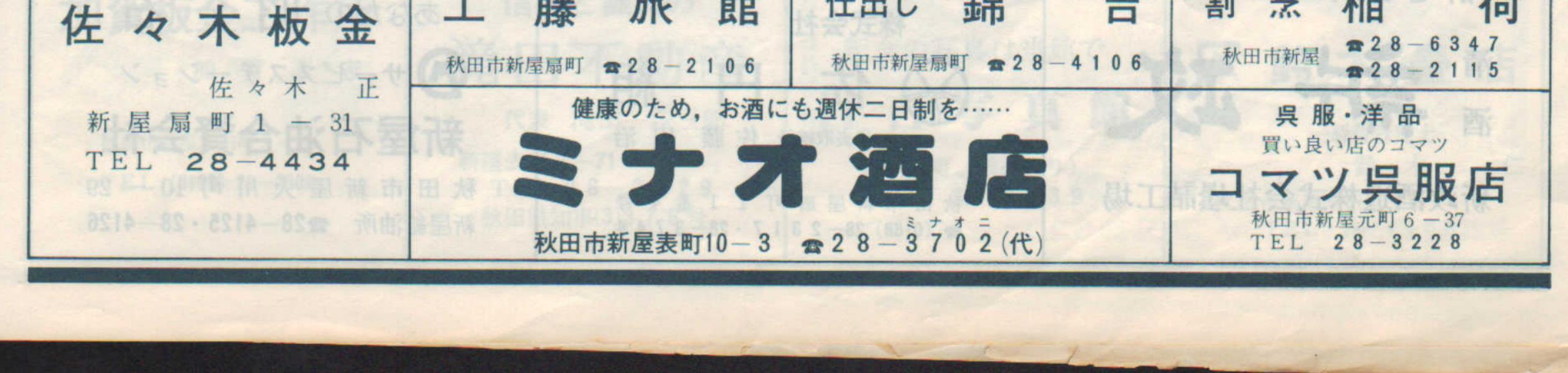
衆 や

5

a series and series		00. 1

氏名	電 話 28-	住所	担当区域 表町4番19号~41号。5番13号~43号。10番9号~31号 関町後22番8号~11号。190番16号~21号。	備考	- Aug		人の方見	妾で組	は、企	分	の状認識	ゴを現在		20						
大島勘九郎 伊藤 タナ	00	新屋表町4-26 新屋栗田町13-12	[関門後22番8 号~11号。190番16号~21号。 日吉町1番1号~18号。2番1号~9号。3番3号。 栗田町2番~13番。17番~19番。14番2号~3号。 15番2号。16番28号~30号。 元町5番30号~57号。14番29号~37号		「全人	造される	る人間の	音 れ う に 見 て		経営者と	を放って	三戸君	「人間く	に取って	間くさい	執念。こ				
藤沢 キク	28- 4 0 0 1	新屋元町14-29	要用町14番4号~28号 15番2号~10号 15素25号~26号 16景2号~12		格」が		入れて	ひべ出る	る	4 44	いるが	の説き	さいそ、	替わら	部分を	れらは				
森川金一郎	28- 3 2 9 2	新屋元町6-55	元町6番~10番。5番の一部。		表ものた	あるこ		の芸術	とにも	and the second s	、彼のの	方は、	分こで	れるこ	構成す	いずれり				
田村 政雄	0001	the second second second	大川町全域。十条団地の一部。	省會	1×	。とを	て奏う	っは。	すぐ		幅広	新し	ほう	とータ	No°	もす				
小野得太郎	28- 2 1 0 8	新屋扇町7-41	扇町7番。表町5番。10番の各一部 表町8番~9番。11番~14番。	公会	すう		0 位 主		名をあ	ミア君	するの	者はア	。 - かう	「全体	組織の	が光彩				
小野ミツエ	28- 4 2 4 7	新屋田尻沢東町 2-25	田尻沢東町1番~4番。田尻沢西町11番~15番。 田尻沢中町1番~16番。	the series	一男 ティー		たを売え	く一世纪	3	トのルー	がそれ	への通り	t h	, 上 举	のアーエ	やを放				
鈴木 仁	28- 4 4 0 5	新屋栗田町1-7	元町1番~4番全域。新町後。清水出脇。 栗田町1番。6番~10番。18番~19番。	1/20	牛		る男 青り	O住友が国家に 山		でつけて おいとう	的ではち	りであっ	んるは世	を意味する	テストレ	ノ眉く				
石黒市之助	28- 4 2 0 0	新屋比内町9-4	比内町2番から全域。		一を自認		开 忠			しその正	ないので	っが、こ	で	る「単純	しもい	なのだ。				
			扇町8番~13番。比内町1番。扇田全域。堂合の一	部	c		2				0	0	0		0	2				
畠山 重昭	$ \begin{array}{r} 28 - \\ 6 5 6 4 \end{array} $	新屋高美町7-3	高美町1番~8番。10番~11番。 渋谷町1番~4番。鳥木町39番。4番12号。		へだ男!	动臣	山丸方			武諸けた	官僚主	世界に	価格を破壊.	「詩と	半歩先	まとめ				
大門 テイ	28- 3630	新屋日吉町7-16	日吉町3番~10番。比内町8番。		- 4 座	Interest of	は家に			を招え	義を掃	マーク	破壊し	真実し	する男	受、又ディネ				
	100 M 100 100		元町11番~13番。16番~22番。23番の各一部		大野 二	八日で	さ谷した	た吉川	佐治 敬三	男 -	帰除する	る内	創堤す	を求め		又は調整者)				
根田 京子	28- 4 9 5 6	新屋扇町4-4	表町1番~7番。4番。5番の各一部。 扇町1番~6番。		一産	俊 月	馬 興 男 男 男 男 男 男 男 男 男 男	与 兵 衛	敬三	俊彦	男 昭 夫	男助	る清二	る募好	17	者とは				
石野 広	28- 4 7 3 8	新屋比内町8-75	比内町7番。比内南町。市営住宅全域。	and the second	1	の発行	う待して	からの	収穫を	の最を悪	に出て て	に 出て	に 出て	に出て	に 出て	ー雄君	らない	める里	〇株式	の パラ
袴田 歌子	28- 3 9 1 6	新屋字関町後 190-51	関町後の一部。栗田町31番県営住宅全域。			所は	「止く	企释	得す	又慮 オし	いアる	パの今	とは文		会社の	ま味				
一関 敏郎	28- 5319	新屋前野町1-12	田尻沢西町1番~10番。前野町1番。 沖田町1番~12番。月美団地全域。			1+	い違い	対見	とも	たいる	リカ	経済事種	している	早	運命	を世界				
	tron 2	A B C. R		計 17 名		>	こい	る展望を	1	t It	洛	有の取材	る三戸節	種三	を見きわ	辺文敏				
(有) 四一次 (有)	可部 28-2 具一級 ふ、	総合食品 防 店 2702 技能士 とん店 28-1204	■室内装飾 新房丁戸		か	老田 出	日坂	A-1152		新 (新)	からします	味は特	合に御利級、出前	54特急	2					
	7 17	ふれ合うオ	御料理・折詰・仕出し	御婚礼		青進・行 全全	御料玛	l·折 計	古い	宝	A		折詰・ 和語		右	Ŧ				

に飽



昭和56年1月10日

長谷川

禮

治

(60才)

還暦の新年を迎えて

事変や日

支事

あけまし しておめでとうご

ざい う酉年であ 九二一年の酉年生まれで十 ます。 ります。 今年はえとでゆ 私も一

りで

ます。 の新年を迎え 63 0 たわけであり 干十二支辛酉 わゆる還暦 一周に当り

衆

報

二年ごとに、 迎え、また十 毎年新年を

5

や偉大な抱負をいだいたこ すが、 年を迎えてきた訳で だわらな ことを思うと全く汗顔の至 にあたっ えとの年男として 々凡 とも記憶になく、 えば漫然と新年を迎え、 々 と年月を過して 生来あまり物事にこ い性分なの も特に 概して 0 -大決心 か新年 ありま 新 平 た 13

ことの ひとしお感無量のものがあ かその場に直面し た新年であり **運暦などということは他人** しが強かっ ます。 しか ようで老人め し今年は還暦を迎え たが、 0 いざ自分 て見ると いた感 今ま 7.

ります関係か

人やその関係

私達の青年時代は、 満州

を旨として

人

関係

の原点

6

会が多く

あり

酉年

に思う

とり

球協会秋田県 争に 平素 野球協会の役 るも てき を得 あり をお はれ 歩発達もさる おか 七十 則の ひて世間を見 **成**会 に健康で働 私は現在、 ます。 早朝、 に努力 ので平 され救急 ており た長く き元気に ま 代で かりださ に特に 三週間 本 た。 まる 人の 突然 均 17

と言う。そこで、雌、雄、 だけに飼育されているのだ の話しに移る。そして 筈だ。 齐に名前が

知れ渡り み合せはよく **鶏)はもともと日本産で世** て作られた き声を楽 テン チョ それぞれ特徴のある 時代に観賞用と て人々の心を動 ただ生むこと ビケイ ものだそうな む為のものに 知られている (東天紅 (声良鶏)が 白色レゴ ウヅラチ (長尾 X, -

の組 見守っ 区の方角 等々 ス、 「風見鶏 との発展を願 てくる。 タマ が山積してい 先か」と 土を愛し った頃はい 一九八 さて、 高校誘致 ゴが先か て 西部地 -を 17 -----るす 指 古き 年に は新 堂 2

第 49 号 (7)

る。

(昭55

5までの分

自覚す

る今日

ぱく

グ

n

「コケ] 7 -

比内鶏とキ

4

ンポ

大

島

敏

味はネギ ち酒 こち友の話しをしてい である。 楽し ちの良い でなく珍味でもある。 ながら酒を もが (人々を興奮させるばかり て 四十年 長く響き渡る美しい リの鳴き みである。 くると、みんなそれぞ も十二支のようにめぐ 2 シャモは闘鶏 と煮たてのシ て鍋料理を もので まえのわんぱ 声 2 は本当に気持 交わ 30 2 2 るう あち とし ニワ ヤモ のが つき E 4

もの知り博士となる。 おり、 音色によっ ンは卵専用、 かすのだと言う。 コエヨシド 尾羽のまるで無 マボは江戸

此の頃であ	て屋人良あ 地。区 かめニ カ 、、々きた 域南に 夜ぐワ () じ西のふり 開バは がりト 48 ろ	「豆ですのい秋会」るて理院病目私る年六も管な医代死。	争と、
新屋コース 1月8日(休) 2月12日(休) 3月12日(休) 1月13日(休) 2月10日(休) 2月10日(休) 3月10日(休) 3月10日(休) さい。 日本まで以上	10:10 $\lambda - n^{n} - \hat{n}$ 市営住宅 (配本) 県営住宅 入口 10:30 11:05 1:10 1:35 2:10 10:25 10:55 11:30 1:30 2:00 3:00 松美ケ丘団地 朝日団地 県公社 船場町 読書グルーブ 渡辺商店前 10:45 県警住宅 公務員住宅 への配本 10:20 11:10 1:15 1:45 10:40 11:00 11:35 1:35 3:10 り 5 内<	屋。飛が的をの の の の で、環に飛当り 不環はんり 毎 4	きたいものと心に響ってい ます。

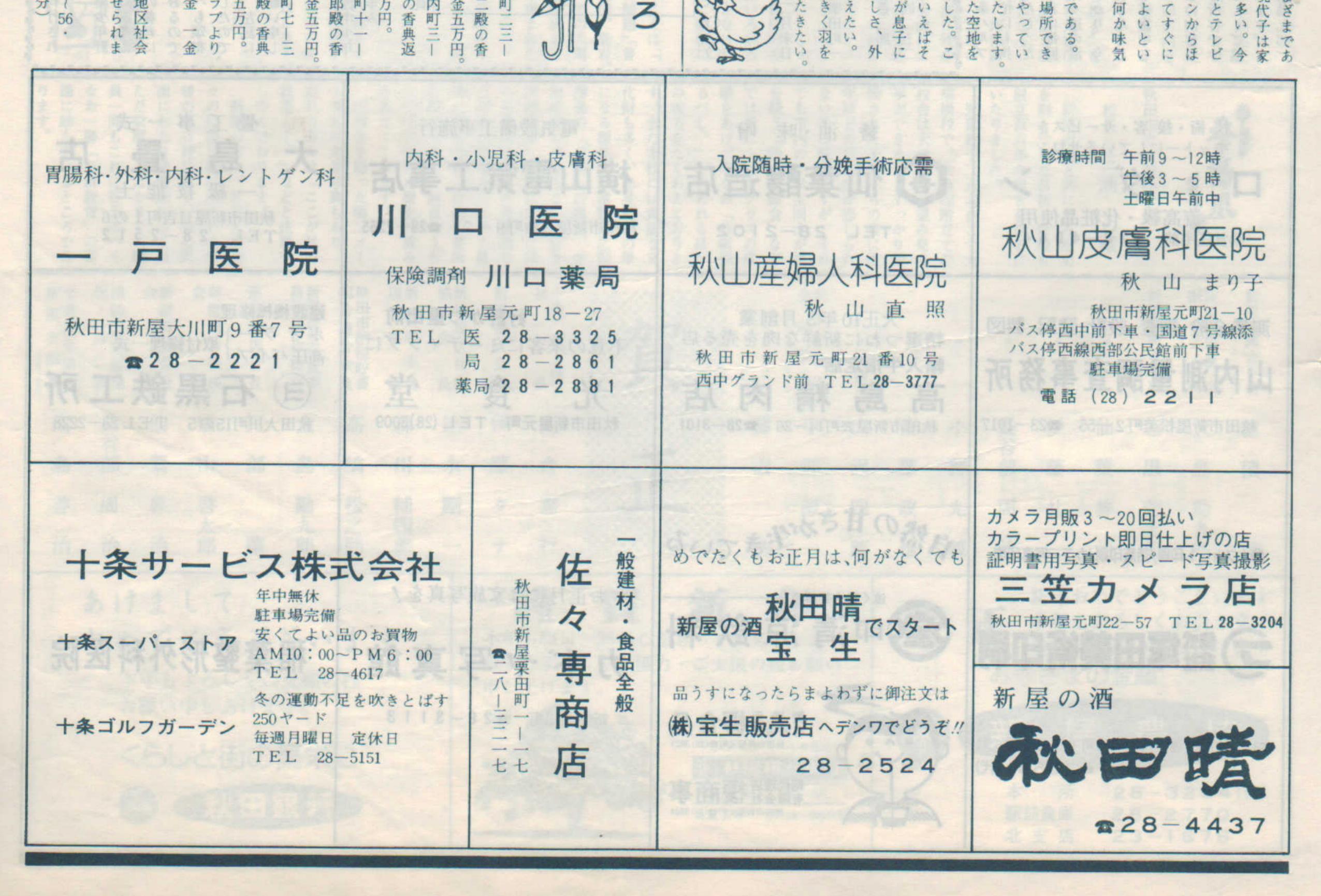
空ビ 返として 高橋慶和殿 穂積 典返とし E 松田 典返と <u>m</u> 福祉協議会 壱万五千 がそれぞれ -した。 田 守殿(元町二三-して 一金五万円。 して 一金五万円。 して 一金五万円。 して 一金五万円。 して 一金五万円。 して 一金五万円。 「新屋地区社会

まご しころ



で遊ぶ楽 れまでで れも時代の 利用 よつ ない気がす スポー 昔はちょ 作つて リ年 たスポ ス こそ、 遊ぶ楽 翔 大き 2 To

手に入る。 んばそれまでだが何 12 ものは、 とかこ ぶことが多 便利で に行く すべ



がないのど 較て一院 糸がない 会主義 入る病 化膿 外科 の糸 の料 うこ 捨てる替 いう から貧 150 0 を使 2 0 20 全 だ 入 メスの替刃 入相 12 T と ~ 12 院 病 0 20 使うとい 本では二 13 なる。 手術や 刃 るの人 午 た。 と 的 よ E 2 悲 はたくさんあ トに二人づいた。午後訪ね て漁師 を、 ち病 の着 な つう 前 C ----ての 医 が 院 語 訪 初歩的な ーイ後訪ねたの やり直したから たのものだ。 たから が が が が の もの た が の もの た が ら うのだ。い 2 、に療 う。 回使え ぎ が 費は か なお な か 7 縫合 れの全 17 る人部社の。のに ば E L

接待

員

る。

生省

0

ビエ

2

ことだと 12 くっにベアい等なた代トメるで 殺の 思 階級 12 質 とにか 5 tr とのがだ下こんミ整。こ たっ という のつ 1 E 13 仲よ 解放 るだ 昔の 無 n 1 け らカ 想 死 答。 12 不 < 問 0 C 傷 12 も さ な 至る処破 省は現在人 とぶ 恐らく おこな は皆殺 逃げ りだつ 改 れ 船 X らへ んそし た 50万 あ 早 3 グ そ 250万の大都 C 2 したが 12 0 物 2 る ナ F 2 ク殿下 ことで 街 で汽車で とし 造が 資は ものを視 く民衆 で我々 支配下 残 赤 う 5 が E 6 ムだが 生きるこ n To 力 力 T 人以上 5 7 。最後 ボ 思 解放さ 2 だけ 2 森音 5 N 2 2 との ンボ る。 2 木 べは ラ も な 13 0 よけトな 群がのン極ボ。音るけ放チ最大ペをる衆々手シて闇車下ン以た在程たポっな下てわで出し破化ポジっれか、つンううれナいの、戦ス度ジ南を。社さミ後都ン視このもに「く物でをコ上が人とのルたぜがいれ、来。壊しルアてた答またガとにばムか植何いかにアベひ然会れンは市はたとエた入のる資連くッは、口納でポかこいるたこな40 さたポのい感えだ時イは

っと飛ぶという 一杯、荷物だらけ。こかない飛行機なので、 国を訪問す 名である 成田を立ち に中通病院長の瀬戸 特別室とい たところが 1先生、 ンにむ 字病院副 長は市立病院長 として 翌日 ク空港の 三国医療 ス・カ 一番すみ ない んだ。 れて飛行機にの ために、 この飛行機大丈夫とぶ のだ。一週に スにの ことに 時間 p T そ が空港に出 F 5 間様が乗る 局長と英語 た扇風機 副田 0 17 とおどろ ラ っも 天井 ヤ 十一月 割合ゆ 2 ある ることに ンボジア 案 12 ン着。 . 2 T が運行すること いうから不安で いう知らせが入 し一安心。とこ 長が 0 % 事 東南 テ な な ラ ス 15 2 内 ても や 病 ケ月 2 こと 13 係も 院 大 0 n 2 二十三日 アジア三 0 私 も知ら 時間 7 他 一部屋二 む ラ n と + ス が T と動 0 < 君と赤 なっ い航 0 その間 も 8-前 7 • T. 特別室 いう見 っつ 2 ŧ 12 かえ 間 も ゆか そ多豊 た行 空機 ベト 全席 から 7 た。 2 7 ぶら れ飛行 15 無事 きる ス も 便 人 て < 我 た -F つき か + 厚 しも 2 h 2 な n T よ ないのが不思議な位だ。こ は日本が お に は はいメ 大 人々 でた 科大学、 自動 雑踏 くもに とかユニセ な 日本の ただし Ð 感謝 ものだ な筈 は、 なく L 1 5 う気は全く あ 聠 ť. 車 自転車、 2 同 す × 2 ~、まるで軽業のよう る中を我 0 だ でい 6 航 て 、空で 感想。 10 今 け

大学 厚生省とまわ 病院 遊 記 よ 婦 n 長 立派 る。 が ほづみ まこと 3

術室 に で た て た て た て た て た て た て た 立 わ 手

衆

あ

隙に

分。

0

5

-

緒

な

場の

ろが

がパヤ

ゆか

T

又び

報

ぷり。

とき

63

医

Z

のう

7

も

の案

ウ

1

7

予

定の

でとぶ

泊。

ヤ

第 49 号 (8)

ナ

吉

ナ

7

5

5

で旧サ

12 12

0

赤

° チ い

in

2

市

次

n p

解

放間

オ

、せんのも

々

を乗

っぱ

ートバ

自力

6

3

うも

とダ

o p

な

3

の国

まで

た

2

T

を

頼

て

12

た

0

ラ

は

昨年三回目の最後の

の外遊

2

たが

.

す

T

な

がべ

1 12

たな

薬い

にづ

病院がちが

医師会を

て

Lo

我

参

7

とか

我

次

つの字

た

が

赤

-

か

5

0

12

つ持

昭和56年1月10日

る気

持はわ

かる

0

く大の

好意

をも

て接待

L

7

うに

修繕

た

と思わ

るク

ラ

が

あ

向う

側は最

もつ

さが

っ

う

5

々の

我

々

と

L

T

テル

たルだの

でカれ

不満

ここで三泊。

病

n

るも

のと思

13

° た

と思って

院、

医科大学、

厚生省

と廻

0

思やはと民かにら欠へトびし主	と指ノ復もじのルか。ラヤど人こ違イ興なが執ギっそンミん間	ぐクいど32 得しトとこたのこう りかるう万。よがのだ王はの しぬらとしと厚う住質け宮、町	れい才れ フトフ るじ な 国 そ し 何 亦 旧 以 、 ノ に ノ 。 で い が の 、 ん 大 分 上 知 ン 追 ン こ 未 。 貧 点 北 た
。 らない。中国と仲よくしなけれ だし、いづれそうなるだろ がし、いづれそうなるだろ がし、いづれそうなるだろ ですれ。 やはり平和が如何に大ら、し に人民が困窮に話したら、し ですれ。 戦争によって、如 にたったが いるか真剣に考えさせられ	なるので、教育の現場、家庭の中での親子、兄弟の顕いであってよいと思います。 その為には、教育者も変ることのない その為には、教育者も教育の現場、家庭の中 でしさを体得する以外方法	は世 き続 夜 三す いにま。 な 三す。 や 一 り き 校 で 書 な し い は 、 そ れ ぞ き な し い は 、 そ れ ぞ き な し い て 、 で む ら む は 、 で む ら む い て 、 で む ら む い て 、 で む ら む い て い つ の 時	新屋 無 燃 新屋 モ 転 東 七 た 市 市 第 日 ※ 第 日 ※ 第 日 ※ 第 日 ※ ※
た旅であった。 (終) た旅であった。 (終)	 その教育の本道であると考 そが教育の本道であると考 この度、「日新一西中少 年野球の歩み」を発刊いた この度、「日新一西中少 新屋野球人が血と汗と涙で しました。この本の内容は しました。この本の内容は しました。この本の内容は 	日新一西中 少年野球の歩み 「「「「「「「」」、 「」」、 「「」」、 「」」、 「」」、 「」」、 「	長 大 塚 豊三郎 がないと考えています。 子供達は雪国のハンデ
、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	三、頭布価格 三、OOO 三、頭布価格 三、OOO 五、申込先 一九 一九 大塚豊三郎 大塚豊三郎	乾坤一樹の時、到る 陸力の極限に、挑戦し 単せ、全県・全国制錬を 動産の野球の会 新産の野球の会 こ、現格 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ともなればと考え刊行され たものであります。 なお、本書は新屋少年野 することに致しましたのみ考え 購入ご希望の方は、左記に よってお申込みお願い申し 上げます。 記
技術・接客・サービスを モットーにしているサロン D g $2一流高級・化粧品使用県営住宅前 28-4064$	醬油·味噌 ③ 伯葉醸造店 TEL 28-2102	電気設備工事施行 横山電気工事 施行 秋田市新屋日吉町9-7 ☎28-2265	畳工事一式 大島豊置店 一級技能士 秋田市新屋日吉町106 TEL 28-2512
測量全般·調査·設計·登記·製図 山内測量調査事務所 秋田市新屋松美町2-55 ☎23-1017	大正10年3月創業 精選つねに新鮮な肉を売る店 輸入牛指定店 高島精肉内店 秋田市新屋表町14-26 ☎28-3101	好評かつ重出前 不意の来客にミーティングに 光 食 堂 秋田市新屋元町 TEL (28)3009	建設機械修理 ボイラー 高圧パイプ 取付修理一式 う 石黒鉄工所 秋田大川町15の5 TEL28-2228
・オフセット印刷/活版印刷/カラー写真印刷	自然の甘さが生きている 注く子も実験の 印清涼飲料	お正月には家族写真を!	孤奋鼓动力打压险

